

がん遺伝子パネル検査の流れ

主治医と相談

受診を希望される場合にはあらかじめ主治医からがんゲノム外来に診療情報を提供いただく必要があります。また、主治医から病理標本（HEやパラフィンブロック）や最新のCT画像等をご提供いただく必要があります。

予約

上記診療情報を確認し、当院のチームカンファレンスで、保険適応の条件を満たしているか、判断をします。そのうえで、保険診療外来予約か自費診療外来予約か、受診いただく外来を推奨し、予約をお取りさせていただきます。

ゲノム診療科外来受診

がんゲノム医療担当医師から検査の詳しい説明をいたします。同時に全身状態や治療実施状況など再度確認いたします。なお保険適応パネル検査には主治医からいただいた情報の状況により1~2回の外来受診が必要になります。

費用支払い

詳細は、それぞれのがん遺伝子パネル検査に記載されている検査費用についてをご覧ください。

検査提出

費用振り込みが確認でき次第、検査を発注いたします。

検査結果解析

検査結果が返却されたら、当院エキスパートパネルにおいてこれまでの治療経過や社会的背景も踏まえ、遺伝子パネル検査結果を総合的に一例一例議論を行います。

検査結果報告

エキスパートパネルでの議論の結果を、ご本人様にお伝えいたします。検査提出後、結果が出るまで1ヶ月半程度かかります。